

CS(学校運営協議会)だより

～やさしいところをひろげよう～



第5号(通算28号)
海老名市立東柏ヶ谷小学校
令和5年3月16日
委員長 芳賀 敬子
校長 小林 文記

*CSとは、コミュニティ・スクール(Community School)の略称です。学校運営協議会を設置する学校のことをコミュニティ・スクールとよび、学校・家庭(保護者)・地域が一体となり、協働して子どもたちの成長を支えていく仕組みのことをいいます。本校の学校運営協議会は、今年度で4期目(7年目)を迎えます。

えびなっ子スクール、今年度も盛会!

今年度も、学校応援団(東柏っ子応援団)が中心となり、11月にえびなっ子スクールを開催しました。各プログラムの講師の方々のご理解とご協力をいただき、さらに今年度からは、PTA本部や各役員の方々のご協力をあり、パワーアップしたえびなっ子スクールとなりました。子どもたちは、たくさんの大人に見守られ、素晴らしい体験をすることができた日になりました。

開催にあたって、地域コーディネーターと学校(地域連携・CS担当)が協議・検討を重ね、日程の候補やプログラムの選定など、様々な準備を行ってきました。準備を通して、地域コーディネーターの「子どもたちのためによりよいものにしたい」という熱い想いを感じ、学校としても、協力してくださる方々のご厚意に大変嬉しくなりました。関わってくださった皆様に改めて、御礼申し上げます。

なお、活動の様子は、PTA広報誌「ひがしかしわ」(第167号)にて紹介されています。ぜひご覧ください。



「あいさつ」があふれる東柏に

2月13日(月)にコミュニティ・スクール朝会を行いました。当日は、学校運営協議会委員の柳下泰介さん(5丁目自治会長)と橋本絵美里さん(地域コーディネーター・6丁目)にご来校いただき、「あいさつ」についてお話しいただきました。本校には以下のような地域連携・CSの目標があります。

地域に愛着をもち、主体的に行動(あいさつ等)できる子

これは学校運営協議会の委員の皆様とも共有し、学校・地域・家庭全体の思いとして設定されています。また、昨年度から行われている柏ヶ谷中学校区小中合同学校運営協議会で決められた重点目標の

「つなげる」⇔「つながる」柏中学区

との関連も考え、人と人がつながる第一歩としての「あいさつ」について委員の皆様と熟議し、「あいさつ」ができる地域にしていこうと確認をしました。

当日はまず、地域連携・CS担当から「あいさつバッジ」について説明をしました。これは、主に保護者の皆様、地域諸団体(自治会、ゆめクラブ、長寿会、民生児童委員など)の皆様にご協力をいただき、着用していただいております。子どもたちには、「缶バッジをつけている人=みんなの応援団」として理解し、あいさつを自分からすすんでできるように話をしました。缶バッジの存在は多くの児童が知っていましたが、その意味の理解やあいさつをするという行動には至っていないのが現状です。皆様にもご協力いただき、あいさつを行っていただければと思います。

つぎに、柳下さんと橋本さんからお話をいただきました。



あいさつっていつあるだろう?
朝起きたとき、午前中に人と会ったとき、
ご飯を食べるとき、食べ終わったとき、学校から帰るとき、
家に着いたら・・・?たくさん知っているよね。
あいさつというのは人と人の心をつなぐ言葉です。
わたしは「ひげのやぎさん」と呼ばれています。
地域で会ったら、ぜひ声をかけてください。
一生懸命あいさつをして、みんなで友だちになりましょう。

実はわたしはあいさつをすることが
あまり得意ではありません。自分が知っている人でも、
相手は知らないかもしれないとか、大勢の中で声を出すのが恥ずかしい
などか、いろんなことを考えてしまいます。
でも、勇気を出してあいさつをすると気持ちがいいし、
あいさつをされた人も元気が出ると思います。
みんなには思い切って、あいさつしてほしいです。
難しい人は、お辞儀だけでもいいので、とにかく自分から
やってみると自信もつきます。



子どもたちはお二人の話をよく聞いていました。場面や状況によって変わる「あいさつ」について考え、自分からやってみようとする気持ちや人とつながったり、知り合いになったりするよさを感じてくれたらと思います。

先生からだけでなく、地域の人から教わることがたくさんあります。今回を機に、子どもたちの意識が少しでも変わり、あいさつをすることに前向きになってくれると嬉しいです。

編集後記

本校では、「地域に愛着をもち、主体的に(あいさつ等)行動できる児童」の育成を目標に、学校・地域・家庭との協働を進め、東柏ヶ谷小学校の児童のために何ができるか、どのような支援が必要かを熟議しています。学校はもちろん、地域として、どのように子どもの成長を支えるかについてお力添えをいただいております。コロナ禍で様々な制限をしなければなりません。個人的には、数年前の活気ある東柏ヶ谷の姿が大変恋しいです。

今年度も大変お世話になりました。来年度も皆様の温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。1年間CSだよりを作成し、私は東柏ヶ谷の地域がより大好きになりました。子どもたちにもそう思ってもらえるよう引き続き努力してまいります。(東柏ヶ谷小学校学校運営協議会事務局 A)